

# 令和5年11月定例会 一般質問（概要）

令和5年12月7日（木）

横倉 廉幸 議員



（横倉廉幸議員）

大阪維新の会大阪府議会議員団の 横倉廉幸 です。  
通告に従い、順次質問させていただきます。

## 1. 府立学校におけるハラスメント等の対応について

### (1) 府立学校の教職員間におけるハラスメント等への対応について

（横倉廉幸議員）

私からはまず、府立学校におけるハラスメント等の対応についてお伺いをいたします。

この議会で、子どもの不登校、いじめ対策につきましては、これまで複数の議員から質疑等がありました。そのときにも示されましたが、今年の10月に文部科学省が公表した令和4年度の調査の結果では、全国の不登校児童生徒数は過去最多でありました。

また、大阪府においても、不登校児童生徒数は増加しているということでありまして、学校の現場における喫緊の課題であると私も考えております。

そのような中、学校現場で働く教職員の場合においても、職場の同僚からハラスメント等を受け、出勤できなくなり、精神疾患で休職に至った事例があると聞いております。このような事例も生徒への影響を及ぼすものと考え、学校現場における大

きな課題ではないかなと考えております。こうしたことが起こらないようにするためにも、ハラスメント等の対応や教職員が働きやすい職場環境をつくるということが非常に重要ではないかと考えております。

そこで、府立学校の教職員間におけるハラスメント等の対応について、教育長にお伺いをいたします。

(教育長)

- 府教育庁では、「職場におけるハラスメントの防止及び対応に関する指針」や「ハラスメント相談員の手引き」を策定し、教職員への啓発・研修の実施、校内相談体制の充実など、総合的・組織的な対策を講じている。
- また、専門的なアドバイスを受けられるよう、第三者である外部の専門機関に相談窓口を設け、電話等による相談に応じるなど、相談体制の強化に努めている。
- ハラスメントの相談があった際は、被害者のケアや関係者からのヒアリングを行うほか、相談内容に応じて、教育庁によるハラスメントの調査・判断を行うこととしている。ハラスメントの行為者については、必要に応じて学校現場から外しての研修、懲戒処分の検討、配置転換など厳正に対処し、被害者に対して寄り添った対応に努めている。
- また、ハラスメント以外でも、同僚とのコミュニケーションや環境の変化等により、ストレスを感じ、不調を訴える教職員もいることが相談を通してわかってきた。今後も、教職員が快適で働きやすい職場環境づくりに向けて、全ての府立学校で取り組みを進めていく。

(横倉廉幸議員)

ありがとうございます。

教職員のハラスメントについては、啓発や研修、あるいは相談体制の充実など、様々な対策を講じている。また、被害者のケアや行為者に対しての厳正な対処・処分等を行なっているということは理解しました。そして、教育長のご答弁の最後にもありましたように、調査の結果、ハラスメントと認定されなかった場合でもストレスを感じ、不調を訴える教職員もいるということです。何気なしに言った言葉や態度、行為者にとっては何も感じてはいなかったことが、受けた側にとってはそれが精神的にダメージとなり、ストレスとなりハラスメントとなる。

なぜ、行為者がそのような、つきつい言動になるのか、原因は様々ですが、その一つには職場環境も大きく影響していると考えます。教職員の多忙な業務、そのことが余裕をなくし、ついつい厳しく激しい言動につながる。行為者は何の意識もないが、受けた方はダメージを受ける。だから調査してもハラスメントは無かったということになります。それと、もう一つの問題は内部処理、悪い言葉で言うならば隠ぺいです。事実、私のところにまで教職員のハラスメントに対する複数の相談がありました。教職員におけるハラスメント対策の一つには、教職員のゆとりある業務、すなわち働

き方改革と情報の共有が重要と考えます。早急に取り組んでいただくことを要望しておきます。



## 2. 大阪バーチャル美術館について

### (1) 大阪バーチャル美術館について

(横倉廉幸議員)

次に、大阪バーチャル美術館について伺います。

大阪府には「大阪府 20 世紀美術コレクション」という、約 7,900 点にも及ぶ貴重な財産があります。そのコレクションを管理・活用する拠点となっているのが、大阪市西区にある府立江之子島文化芸術創造センター、通称 enoco ですが、スペースの関係で、一部の作品の展示にとどまっています。また、enoco の認知度についても高いとは言えない状況にあり、認知度の向上が課題であるということは、これまでに何度か指摘してきました。

そのような中で、2025 年大阪・関西万博開催 500 日前にあたる 11 月 30 日に、コレクションをインターネット上で鑑賞することができる「大阪バーチャル美術館」が開設されました。



私も早速、訪れてみたところ、バーチャルギャラリーでは、約 100 点の選りすぐりのコレクションが、メタバース内で展示され、まるで美術館の中を歩いているかのように鑑賞することができました。



また、作家や作品の解説も読むことができ、これまでなかなか触れることのできなかった作品の魅力を存分に楽しむことができました。



## デジタルアーカイブ

DIGITAL ARCHIVE

大阪府では、関西を拠点に戦後の美術界で活躍した現代美術作家の作品をはじめ、1990年代に開催した「大阪トリエンナーレ」の受賞作品など、絵画や版画、彫刻、写真等約7,900点の美術作品「大阪府20世紀美術コレクション」を所蔵しています。ここでは、その所蔵作品を、作品名や作家名、キーワードから検索し閲覧いただけます。

作品一覧   コレクションガイド   作家解説

作品名や作家名で検索できます。

フリーワード検索

ジャンル

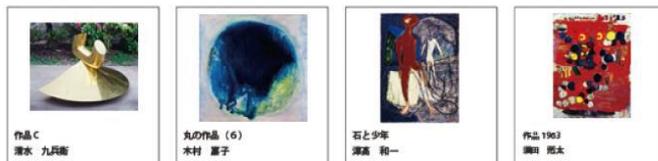
コレクション分類

制作年 半角数字4桁を入れてください。  
 年から  年まで

キーワード

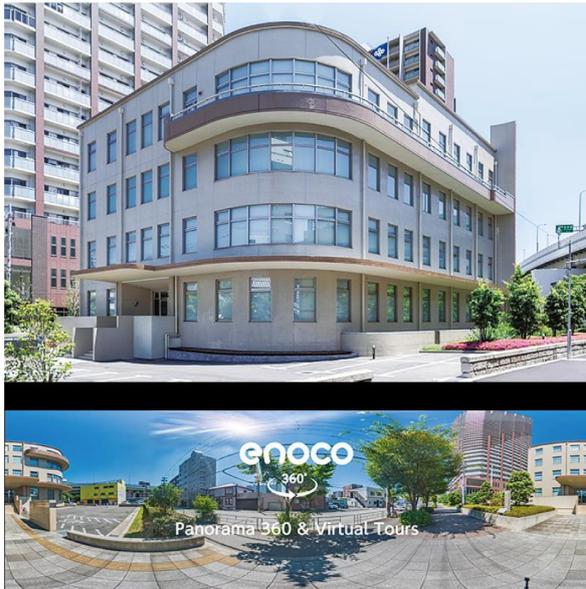
作品名 (五十音順) で表示しています。

検索結果 6823件



さらに、コレクションをキーワードで検索し、画像を見ることが出来るデジタルアーカイブも備えられているなど、実に充実した内容であると感じました。

せっかくこのような、素晴らしい「大阪バーチャル美術館」ができたのですから、インターネット上での公開という特質を活かして、ぜひ、国内外にその魅力を発信し、PRすべきと考えていますが、どのように取り組んでいくのか、府民文化部長にお伺いいたします。



(府民文化部長)

- 大阪バーチャル美術館については、議員ご指摘のとおり、国内外に向かって発信に努めていくことが重要であると認識しています。
- そのため、チラシやホームページ、SNSでの広報のほか、大阪府・市が構築した都市連動型メタバースである「バーチャル大阪」と連携し、双方から直接アクセスできる入口を設けることにより、国内外に現代美術や大阪の魅力を発信し、大阪への誘客と万博の機運醸成につなげてまいります。
- また、大阪バーチャル美術館では、世界中の人々に鑑賞していただけるよう、作品解説等に英語での表記を取り入れており、今後、例えば在関西の総領事館等にPRするなど、海外に向けての発信にも取り組んでいきたいと考えています。
- 今後、利用者に向けたアンケートを実施し、その結果やサイトへのアクセス数などを踏まえ、利用者のニーズに応じた魅力的な企画や、より効果的な広報につなげていけるよう、取り組んでまいります。

(横倉廉幸議員)

この「大阪バーチャル美術館」の取組みを通じて、現代美術を身近に感じてもらうことは府民にとっても良いことであると思いますので、今後もしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

また、バーチャルだけでなく、作品の実物を鑑賞していただくことも大切であると思います。私は enoco の企画展に何度も足を運んでいます。そのたびに、府のコレクションの素晴らしさを感じています。多くの方に enoco に足を運んでもらえるよう、積極的な広報に努めていただきたい。

それと同時に、美術作品を良好な状態で、維持・管理をしていくことも大切なことです。今後適切な状態で鑑賞していただけるようお願いいたします。

そして、大阪・関西万博に向け、府のコレクションを活用しながら、enoco から文化芸術の魅力を発信し、大いに盛り上げていただきたいと思います。

### 3. 水都大阪の魅力向上について

#### (1) 「水の回廊」を結ぶ中之島ゲートの整備について

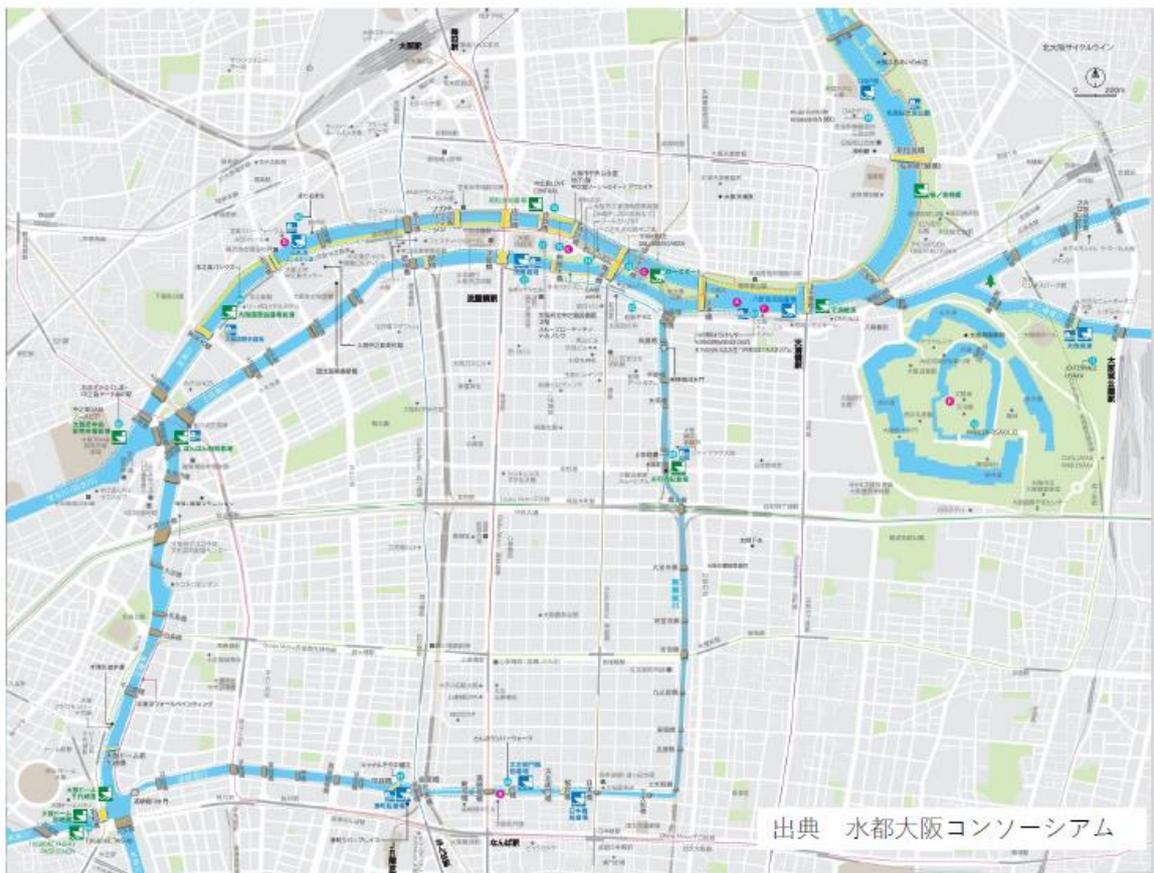
(横倉廉幸議員)

最後に、水都大阪の魅力向上についてお伺いいたします。

私は議員になって「水都大阪の再生」をライフワークとして取り組んできました。

特に、大阪の中心部を流れる川は、貴重な潤いの空間であり、その川に磨きを掛け、有効活用することがまさに、「水都大阪の再生」につながるの思いから議員活動を続けてきました。議員になって38年、大阪の川は見違えるようになってきました。

中でも大阪市内の中心をぐるりと川で囲む「水の回廊」があり、世界でも稀な地形であります。



海外に目を向けると、アメリカのテキサス州サンアントニオ市にも1周約4kmの「水の回廊」、「サンアントニオ・リバーウォーク」があり、川沿いには遊歩道が整備され、遊歩道沿いにはレストランやカフェが立ち並んでいます。私も2002年と2006年、2度この街を訪れましたが、多くの観光客や地域住民が、水辺を楽しんでいる光

景を見て、大阪もこのようになってもらいたいと強く感じました。

ところで、私の地元の西区川口地区では、現在、中之島ゲートターミナルの整備が進められていますが、ここは大阪開港の地であり、歴史的にも重要な場所でもあります。完成した暁には、ベイエリアから「水の回廊」へとつながる新たな賑わい拠点として、水都大阪の賑わいづくりに大きな役割を果たすものと期待しています。

また、近隣にある端建蔵橋（はたてくらばし）でも大阪市が架け替え工事を進めているなど、中之島ゲートの整備を進めるにあたっては、府・市など様々な機関と調整が行われていると聞いています。

こうした整備を着実に進めることで、2025年大阪・関西万博で大阪を訪れる国内外の多くの方々に、中之島ゲートや「水の回廊」を船で周遊していただき、水都大阪の魅力をより強く発信いただけるのではないかと考えます。

そこで、中之島ゲートの整備に向けて、関係機関とどのように連携し、賑わいづくりを進めていくのか、府民文化部長にお伺いいたします。



（府民文化部長）

- 国内外から多くの観光客が訪れる、2025年大阪・関西万博に向け、ベイエリアと大阪の都心部の「水の回廊」を結ぶ中之島ゲートの整備は、水都大阪のさらなる魅力向上につなげることができる重要な取り組みであると認識。
- そのため、河川管理者をはじめ、船着場の整備を担当する府都市整備部、また近隣の橋の架け替えや水辺の賑わいづくりを担当する大阪市の関係部局と「水都大阪事業調整会議」を開催するなど、関係機関で情報共有や意見交換を行いながら進めているところ。
- また、賑わいの創出に向け、舟運事業者と連携しながら船着場の活用を進めるとともに、大阪開港の歴史などに触れていただくワークショップや、景観を活かしてプロジェクションマッピングを実施するなど、施設の整備を進める民間事業者と連携して賑わいづくりを進めていく。

○ 引き続き、様々な関係機関と連携しながら、中之島ゲートの整備を着実に進め、大阪を訪れた多くの観光客に水都大阪の魅力を体感していただけるよう取り組んでまいります。

(横倉廉幸議員)

中之島ゲートのある西区川口は歴史的にも重要な役割を果たした場所であり、万博から、それ以降にも長きにわたって親しまれるよう、地域住民や関係機関としっかり連携しながら整備を進めていただくことを強く要望しておきます。

アメリカのサンアントニオ市にある大阪が整備している「水の回廊」の大先輩である「リバーウォーク」は、その名のとおり川辺を歩いて周遊できるよう整備されています。

一方、大阪の「水の回廊」全体に目を向けると遊歩道の整備が進んでいません。

大阪は川ギリギリまで建物が建っていたり、増水時の安全確保のため川沿いに遊歩道を整備するのが難しい場所もあることは承知していますが、理想としては「水の回廊」を歩いて回れるようにしていただきたいと思えます。

ところで、現在、道頓堀川の西側、西道頓堀川において護岸の耐震補強を大阪市が行っていますが、こういった護岸整備に合わせて遊歩道を整備するのが効果的だと考えます。もちろん、道頓堀川が大阪市所管ということは承知していますが、府市一体となり、ハード、ソフト両面から検討し、水都大阪の魅力向上に向けて取り組んでいただきたい。「水の回廊」の遊歩道の整備は観光客だけでなく地域住民にとっても重要なものと思えます。

今回のこの「水の回廊」における遊歩道の整備についての質問作りに際して、的確に回答のできる部署が大阪府にはありませんでした。大阪の水都再生のなかで重要な部分である「水の回廊」のハード・ソフトの整備計画などを総合的に取り扱う所管がばらばらであるということに驚きました。

万博やI Rを契機として大きく進展しつつある水都大阪。

河川だけではなく海上も含めた舟運の増加。

そして、着実に進めてきた大阪の水都再生。

その水都大阪を世界的に標榜するなら、大阪府・大阪市・民間、ハード整備、ソフト整備、水上交通の安全対策など、水都に関連する全てを網羅した組織づくりが喫緊の課題と考えます。早急に取り組んでいただくことを強く要望して、質問を終わります。

